

第 8 3 回経営協議会議事要録

日 時 平成 2 9 年 9 月 1 4 日 (木) 1 3 時 3 0 分～1 4 時 5 5 分

会 場 大学本部棟 5 階 第 1 会議室

出席者 (委 員)

吉原、内田、丸茂、赤澤、奥村、北島、青柳の各委員
島田学長、早川理事、堀理事、吉田理事、杉山理事
(列席者)

鮎川監事、八巻監事、白沢学長補佐、小林総務部長、溝部財務管理部長、
寅ヶ口施設・環境部長、山田研究推進部長、茅国際部長、山田医学域事務部長、
志村企画課長、深澤特命課長 (I R 担当)、石原監査課長、石原総務課長、
村田人事課長、桐島財務管理課長、窪田教務課長、
加勢企画課課長補佐、植村総務課課長補佐

議事要録確認

第 82 回 (29. 6. 23 開催) の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

- 1 平成 29 年度自己点検・評価の実施 (案) について
早川理事から、資料 1 により、平成 29 年度年度計画等に係る自己点検・評価の具体的な実施方法等を定める旨説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 2 平成 29 年人事院勧告に基づき改正される国家公務員給与法等に準拠する国立大学法人山梨大学職員給与規程等の一部改正 (案) について
吉田理事から、資料 2 により、平成 29 年人事院勧告に伴い、国家公務員給与法等に準拠する本学の職員給与規程等の改正の方向性について説明があり、審議の結果、これを承認した。
なお、具体の改正については、国会の審議状況並びに各事業場過半数代表者への意見聴取を踏まえ、11 月以降に開催される役員会において審議する旨、併せて説明があった。

報告事項

- 1 教育研究評議会の開催状況について
吉田理事から、資料 3 により、第 162 回及び第 163 回の教育研究評議会開催状況について報告があった。
- 2 役員会の開催状況について
吉田理事から、資料 4 により、第 186 回及び第 187 回の役員会開催状況について報告があった。
- 3 大学院医工農学総合教育部 (博士課程) 改組に係る審査結果について
早川理事から、資料 5 により、事前伺いで申請した「医学専攻」及び「工学専攻」の改組計画、及び意見伺いにより申請した「統合応用生命科学専攻」の改組計画については、いずれも大学設置・学校法人審議会により設置可能 (意見なし) と判定され、平成 30 年 4 月の改組に向け、諸手続きを進める旨報告があった。
- 4 平成 28 年度財務諸表の承認等について
杉山理事から、資料 6 により、6 月 29 日付で文部科学大臣宛て提出した財務諸表が、8 月 31 日付で原案どおり承認された旨報告があった。

5 平成 30 年度概算要求の状況について

杉山理事から、資料 7 により、文部科学省から財務省に提出された本学の概算要求事項及びその要求額並びに収入・支出予定額〔予算積算上〕について報告があった。併せて、国立大学法人運営費交付金等の構成及び概要について説明があった。

6 平成 30 年度国立大学法人等施設整備概算要求について

杉山理事から、資料 8 により、概算要求の事業評価結果について報告があり、要求した 7 事業のうち 3 事業（継続事業：1 事業、新規事業：2 事業）が採択候補となった旨報告があった。

7 寄附講座の設置について

早川理事から、資料 9 により、医用画像の分野で独自性を持った研究を行うため、「先端医用画像学講座」を設置する旨報告があった。

8 クラウドファンディングの実施について

杉山理事から、資料 10 により、クラウドファンディング『「大村智博士」につづけ！“学大将”を育てる自主研究プロジェクト』の実施について報告及び協力依頼があった。

9 その他

(1) 「大村智記念学術館」の整備について

学長から、追加配付資料により、建設予定地、建物名称及び建物概要等について説明があった。

(2) 平成 29 年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況について

学長から、机上配付資料により、外部有識者との意見交換について報告があった。

※ 次回会議 平成 29 年 11 月 17 日（金）13 時 30 分から開催することを確認した。

学外委員からの意見等

報告事項3 大学院医工農学総合教育部（博士課程）改組に係る審査結果について

（奥村委員）

MDを目的としない、大学院医学系博士課程を受け皿とする修士課程はあるのか。

（早川理事）

MDを目的としていない専攻としては、修士課程に生命医科学専攻があり、博士課程には、新設する統合応用生命科学専攻の中に生命医科学コースを設けている。充足率確保が厳しいことなどから、入学定員は縮小させている。

（奥村委員）

大学院医学系博士課程のPHDへの入学希望者は、一定数存在するものと思われる（東京医科歯科大学のPHDなどは人気が高い）ことから、広報活動を適切に行うことが重要と考える。

（早川理事）

改組前の生命医科学コースにおいては、留学生の需要も相当数あったことから、留学生確保にも力を入れていきたい。

報告事項5 平成30年度概算要求の状況について

（北島委員）

平成30年度収入予定額の運営費交付金が対前年度▲1億2百万円の減（▲1.1%）は実質の減であるのか。

（杉山理事）

平成29年度は、新病棟に係る予算が運営費交付金の中に含まれていたが、新病棟完成に伴い、その分が減となっていることから、平成30年度は実質の減ではない。

（北島委員）

人事院勧告に伴い、毎年、運営費交付金の増減はあるのか。

（吉田理事、溝部財務管理部長）

人事院勧告に伴う、運営費交付金の増減はない。